

常滑市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）のパブリックコメント結果

募集期間：令和5年2月24日（金）から3月23日（木）まで

周知方法：市ホームページ、広報とこなめ3月号

資料閲覧：市ホームページ、常滑市役所生活環境課

提出方法：郵送、FAX、メールまたは持参

意見総数：2名（3件）

NO	意見の概要	市の考え方
1	<p>カーボンニュートラルは、再生エネルギーと、どれだけ使用量を抑えられるかだと思う。再生エネルギーだけでは、通常の使用量をカバーしきることはできないし、再生エネルギーの発電にコストがかかり事業にはマイナス面が大きい。ただし、欧州では、カーボンニュートラルの見込みがないと購入してくれない会社も出てきているため、対応は必須。事業面でもプラスに持っていくためには、使用量の抑制が必要です。事例をあげると、デスクトップPCからノートPCに変えて消費電力をおさえる、A社の炉を見たときに断熱性能が低そうだったので断熱性能を上げて消費エネルギーをおさえるなど、きっとやれることは多い。その先駆けとして、市役所まわりでカーボンニュートラルを実現してほしい。実現すれば、災害が起きて停電が起きたときでも、常滑はきっと大丈夫。</p>	<p>市としても、再生可能エネルギーだけでなく省エネ化が重要と認識し、目標と取組を掲げています。また、事業活動におけるカーボンニュートラルへの対応が必要であり、特に支援が必要と思われる中小事業者への施策展開を重点的な取組でも位置づけています。市の取り組みについては、「地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）」（2023年3月策定）をもとに、公共施設などにおいて率先的に取り組んでいくこととしております。</p> <p>いただいたご意見は今後の参考とし、原案どおりとさせていただきます。</p>
2	<p>常滑ゼロカーボンシティの実現もやなくていいと思います。ゼロなんて企業潰しでしかないと思います。</p>	<p>ご意見として今後の参考とし、原案どおりとさせていただきます。</p>
3	<p>EUでもEVの反対意見がドイツとイタリアから出たそうです。太陽光パネルでも自然、山を壊して本末転倒だと思います。土壌汚染の心配とか使えなくなった後の処理とか大問題だと思います。</p>	<p>施策によるトレードオフに留意するとともに、ご意見として今後の参考とし、原案どおりとさせていただきます。</p>